

平成20年7月18日  
社福振試第98号

社会福祉士  
介護福祉士  
精神保健福祉士

} 各位

財団法人社会福祉振興・試験センター  
理事長 田中敏雄

### 登録事項等現況調査の実施について

3福祉士の皆様には、福祉・介護・医療施設や地域社会などにおいてご活躍のことと存じます。

さて、当センターは、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の指定試験・指定登録機関として、国家試験及び資格の登録事務を行っております。この度、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の登録者について、登録管理の適正を図るため、登録事項等に関する現況を調査することとしました。

つきましては、別添の社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の「登録事項等現況調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒で平成20年8月5日までにご回答をお願いします。

また、現在登録されている登録事項に変更を生じているときは、速やかに、必要な手続きを取られるようお願いします。

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士資格の有資格者の皆様方へ

### 3 福祉士の「現況把握調査」へのご協力をお願い

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士資格の有資格者の皆様方におかれましては、平素より、福祉・介護行政の推進につき、多大なるご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

さて、現在の我が国においては、少子高齢化の進行、世帯構成の変化、国民のライフスタイルの多様化等により、今後、国民の福祉・介護サービスへのニーズの拡大が見込まれ、多様化・高度化するニーズに適切に対応していくことが求められています。

一方、近年の景気回復に伴い、他の分野での採用意欲が増大する中、福祉・介護分野においては離職率が高く、恒常的に求人募集が行われているなど、一部の地域や事業所で人手不足が生じているとの指摘もあります。

今後、高齢化がさらに進行することが予想される中で、福祉・介護分野は、最も人材確保に真剣に取り組んでいかなければならない分野であり、福祉・介護の仕事が、働きがいのある、魅力ある職業として社会的に認知され、今後さらに拡大が見込まれる福祉・介護ニーズに的確に対応できる質の高い人材を安定的に確保していくことが、今や国民生活に関わる喫緊の課題となっています。

厚生労働省においては、こうした状況に対応し、質の高い人材の安定的な確保が図られるよう、昨年8月に「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」を見直し、労働環境の整備の推進やキャリアアップの仕組みの構築、資格を取得しながら福祉・介護分野で働いていない方々など、潜在的なマンパワーの活用の促進等の取組を進めていくこととしています。

財団法人社会福祉振興・試験センターが行う3福祉士の「現況把握調査」は、この指針に掲げる取組の一環として、有資格者の福祉・介護分野における就労・不就労の状況、福祉・介護分野における就労に対する意識等の現状を把握し、今後の人材確保対策に反映させていくことを目的とするものであり、厚生労働省が委託して行うものです。

有資格者の皆様方におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、この調査への積極的なご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

平成20年7月 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

【この件についてのご照会先】

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

福祉人材確保対策室 資格・試験係

TEL: 03-3595-2617

【重要な調査です。変更事項の有無にかかわらず、必ずご返送をお願いします。】

記 号

## 社会福祉士登録事項等現況調査票

### 調査の回答にあたって

- ・ この調査は、個人情報保護法を遵守して、登録業務のためにのみ使用するものです。
- ・ 調査事項についてご記入いただき、同封の水色の返信用封筒(切手不要)に入れ、8月5日(火)までにポストに投函してください。
- ・ 返信用封筒の中には、この調査票以外(問2の死亡し又は失踪宣告を受けた場合で、家族が届をする届出書の同封は可。)は同封しないでください。
- ・ また、10月に予定している3福祉士の「現況把握調査」についてもご協力をお願いします。

### 《ご本人確認欄》

- ・ あなたの社会福祉士登録簿には、現在、次のように登録されています。

〒 \_\_\_\_\_  
現住所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 本籍地 \_\_\_\_\_

- ・ 上記の社会福祉士として登録されているご本人が既に死亡し又は失踪宣告を受けている場合には、問2のみご家族の方に記入をお願いします。

### 問1. あなたの現在の状況についてお伺いします。

(1) 次の①から④の事項について、右欄のア、イのいずれか該当するものに○を付けてください。

①	「社会福祉士登録証」をお持ちですか？	ア. 紛失して持っていない	イ. 持っている
②	「氏名」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない
③	「本籍地の都道府県名」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない
④	「現住所」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない

(2) 上記(1)の①から④のいずれかの「ア」に○を付けた方は、別添の「登録の手引<変更登録用>」により、次のいずれか該当する手続きを行ってください。

- 結婚等で「氏名」又は「本籍地の都道府県名」が変わっているときは、「登録事項変更届出書」を提出してください。
- 社会福祉士登録証を紛失しているときは、「登録証再交付申請書」を提出してください。
- 現住所が変わっているときは、「住所変更届」を提出してください。

(注)ただし、次に該当する場合は、「登録証再交付申請書」又は「住所変更届」の提出は必要ありません。

- ・ aの「登録事項変更届出書」の届け出をする場合で、同時に、登録証を紛失しているとき又は現住所が変わっているとき。
- ・ bの「登録証再交付申請書」を提出する場合で、同時に、現住所が変わっているとき。

## 問2. ご家族の方にお伺いします。

(1) 社会福祉士として登録されているご本人が既に死亡し又は失踪宣告を受けている場合には、次のア、イのいずれか該当するものに○を付けてください。

ア. 死亡している	イ. 失踪宣告を受けている
-----------	---------------

(2) 上記(1)に該当された方は、社会福祉士の登録事務に必要なので、別添の「登録の手引<変更登録用>」にある「登録者の死亡等の届出書」にご記入いただきこの調査票とともに、同封の水色の返信用封筒に入れてご送付ください。

### 《3 福祉士の「現況把握調査」へのご協力依頼について》

- ・ 当センターでは、厚生労働省の委託を受けて、社会福祉士・介護福祉士及び精神保健福祉士の資格を所持されている方についての就労等の現況を把握するため、本調査とは別に本年10月に3福祉士の「現況把握調査」を行うこととしております。
- ・ その調査結果は、今後の福祉・人材確保対策の参考に資することとしています。
- ・ 上記調査の実施に当たり、調査票を送付するために福祉士登録簿に搭載された住所、氏名を直ちに利用することは、個人情報保護法との関係から、登録情報の利用目的の範囲を超えた利用となるため、あらかじめ、調査票を送付することについてご本人の同意を得た上で、調査を行うこととしております。
- ・ つきましては、上記「現況把握調査」の趣旨をご理解いただき、次のいずれかに○を付けてください。

なお、調査票の送付に同意いただける方には、10月中(予定)に、別途調査票を送付させていただきます。

調査票を送付することについて	ア. 同意する	イ. 同意しない
----------------	---------	----------

ご不明な点等がありましたら、下記にお問い合わせをお願いします。

連絡先：財団法人社会福祉振興・試験センター 試験室登録部

(住所) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

(電話) 03-3486-7521

(ホームページ) <http://www.sssc.or.jp/>

【重要な調査です。変更事項の有無にかかわらず、必ずご返送をお願いします。】

記 号

## 介護福祉士登録事項等現況調査票

### 調査の回答にあたって

- ・ この調査は、個人情報保護法を遵守して、登録業務のためにのみ使用するものです。
- ・ 調査事項についてご記入いただき、同封の茶色の返信用封筒(切手不要)に入れ、8月5日(火)までにポストに投函してください。
- ・ 返信用封筒の中には、この調査票以外(問2の死亡し又は失踪宣告を受けた場合で、家族が届をする届出書の同封は可。)は同封しないでください。
- ・ また、10月に予定している3福祉士の「現況把握調査」についてもご協力をお願いします。

### 《ご本人確認欄》

- ・ あなたの介護福祉士登録簿には、現在、次のように登録されています。

〒 \_\_\_\_\_  
現住所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 本籍地 \_\_\_\_\_

- ・ 上記の介護福祉士として登録されているご本人が既に死亡し又は失踪宣告を受けている場合には、問2のみご家族の方に記入をお願いします。

### 問1. あなたの現在の状況についてお伺いします。

(1) 次の①から④の事項について、右欄のア、イのいずれか該当するものに○を付けてください。

①	「介護福祉士登録証」をお持ちですか？	ア. 紛失して持っていない	イ. 持っている
②	「氏名」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない
③	「本籍地の都道府県名」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない
④	「現住所」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない

(2) 上記(1)の①から④のいずれかの「ア」に○を付けた方は、別添の「登録の手引<変更登録用>」により、次のいずれか該当する手続きを行ってください。

- 結婚等で「氏名」又は「本籍地の都道府県名」が変わっているときは、「登録事項変更届出書」を提出してください。
- 介護福祉士登録証を紛失しているときは、「登録証再交付申請書」を提出してください。
- 現住所が変わっているときは、「住所変更届」を提出してください。

(注)ただし、次に該当する場合は、「登録証再交付申請書」又は「住所変更届」の提出は必要ありません。

- ・ aの「登録事項変更届出書」の届け出をする場合で、同時に、登録証を紛失しているとき又は現住所が変わっているとき。
- ・ bの「登録証再交付申請書」を提出する場合で、同時に、現住所が変わっているとき。

## 問2. ご家族の方にお伺いします。

(1) 介護福祉士として登録されているご本人が既に死亡し又は失踪宣告を受けている場合には、次のア、イのいずれか該当するものに○を付けてください。

ア. 死亡している

イ. 失踪宣告を受けている

(2) 上記(1)に該当された方は、介護福祉士の登録事務に必要なので、別添の「登録の手引<変更登録用>」にある「登録者の死亡等の届出書」にご記入いただきこの調査票とともに、同封の茶色の返信用封筒に入れてご送付ください。

### 《3 福祉士の「現況把握調査」へのご協力依頼について》

- ・ 当センターでは、厚生労働省の委託を受けて、社会福祉士・介護福祉士及び精神保健福祉士の資格を所持されている方についての就労等の現況を把握するため、本調査とは別に本年10月に3福祉士の「現況把握調査」を行うこととしております。
- ・ その調査結果は、今後の福祉・人材確保対策の参考に資することとしています。
- ・ 上記調査の実施に当たり、調査票を送付するために福祉士登録簿に搭載された住所、氏名を直ちに利用することは、個人情報保護法との関係から、登録情報の利用目的の範囲を超えた利用となるため、あらかじめ、調査票を送付することについてご本人の同意を得た上で、調査を行うこととしております。
- ・ つきましては、上記「現況把握調査」の趣旨をご理解いただき、次のいずれかに○を付けてください。

なお、調査票の送付に同意いただける方には、10月中(予定)に、別途調査票を送付させていただきます。

調査票を送付することについて

ア. 同意する

イ. 同意しない

ご不明な点等がありましたら、下記にお問い合わせをお願いします。

連絡先：財団法人社会福祉振興・試験センター 試験室登録部

(住所) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

(電話) 03-3486-7521

(ホームページ) <http://www.sssc.or.jp/>

【重要な調査です。変更事項の有無にかかわらず、必ずご返送をお願いします。】

記 号

### 精神保健福祉士登録事項等現況調査票

#### 調査の回答にあたって

- ・ この調査は、個人情報保護法を遵守して、登録業務のためにのみ使用するものです。
- ・ 調査事項についてご記入いただき、同封の鶯色の返信用封筒(切手不要)に入れ、8月5日(火)までにポストに投函してください。
- ・ 返信用封筒の中には、この調査票以外(問2の死亡し又は失踪宣告を受けた場合で、家族が届をする届出書の同封は可。)は同封しないでください。
- ・ また、10月に予定している3福祉士の「現況把握調査」についてもご協力をお願いします。

#### 《ご本人確認欄》

- ・ あなたの精神保健福祉士登録簿には、現在、次のように登録されています。

〒 \_\_\_\_\_  
現住所 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 本籍地 \_\_\_\_\_

- ・ 上記の精神保健福祉士として登録されているご本人が既に死亡し又は失踪宣告を受けている場合には、問2のみご家族の方に記入をお願いします。

#### 問1. あなたの現在の状況についてお伺いします。

(1) 次の①から④の事項について、右欄のア、イのいずれか該当するものに○を付けてください。

①	「精神保健福祉士登録証」をお持ちですか？	ア. 紛失して持っていない	イ. 持っている
②	「氏名」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない
③	「本籍地の都道府県名」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない
④	「現住所」は変わっていますか？	ア. 変わっている	イ. 変わっていない

(2) 上記(1)の①から④のいずれかの「ア」に○を付けた方は、別添の「登録の手引<変更登録用>」により、次のいずれか該当する手続きを行ってください。

- 結婚等で「氏名」又は「本籍地の都道府県名」が変わっているときは、「登録事項変更届出書」を提出してください。
- 精神保健福祉士登録証を紛失しているときは、「登録証再交付申請書」を提出してください。
- 現住所が変わっているときは、「住所変更届」を提出してください。

(注)ただし、次に該当する場合は、「登録証再交付申請書」又は「住所変更届」の提出は必要ありません。

- ・ aの「登録事項変更届出書」の届け出をする場合で、同時に、登録証を紛失しているとき又は現住所が変わっているとき。
- ・ bの「登録証再交付申請書」を提出する場合で、同時に、現住所が変わっているとき。

## 問2. ご家族の方にお伺いします。

(1) 精神保健福祉士として登録されているご本人が既に死亡し又は失踪宣告を受けている場合には、次のア、イのいずれか該当するものに○を付けてください。

ア. 死亡している	イ. 失踪宣告を受けている
-----------	---------------

(2) 上記(1)に該当された方は、精神保健福祉士の登録事務に必要なので、別添の「登録の手引<変更登録用>」にある「登録者の死亡等の届出書」にご記入いただきこの調査票とともに、同封の篤色の返信用封筒に入れてご送付ください。

### 《3福祉士の「現況把握調査」へのご協力依頼について》

- ・ 当センターでは、厚生労働省の委託を受けて、社会福祉士・介護福祉士及び精神保健福祉士の資格を所持されている方についての就労等の現況を把握するため、本調査とは別に本年10月に3福祉士の「現況把握調査」を行うこととしております。
- ・ その調査結果は、今後の福祉・人材確保対策の参考に資することとしています。
- ・ 上記調査の実施に当たり、調査票を送付するために福祉士登録簿に搭載された住所、氏名を直ちに利用することは、個人情報保護法との関係から、登録情報の利用目的の範囲を超えた利用となるため、あらかじめ、調査票を送付することについてご本人の同意を得た上で、調査を行うこととしております。
- ・ つきましては、上記「現況把握調査」の趣旨をご理解いただき、次のいずれかに○を付けてください。

なお、調査票の送付に同意いただける方には、10月中(予定)に、別途調査票を送付させていただきます。

調査票を送付することについて	ア. 同意する	イ. 同意しない
----------------	---------	----------

ご不明な点等がありましたら、下記にお問い合わせをお願いします。

連絡先：財団法人社会福祉振興・試験センター 試験室登録部

(住所) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6

(電話) 03-3486-7521

(ホームページ) <http://www.sssc.or.jp/>



## 「3 福祉士現況把握調査」へのご協力について

社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士資格の有資格者の皆様方におかれましては、平素より福祉・介護行政の推進につき、多大なるご理解とご協力を賜り、誠に感謝申し上げます。

また、「3 福祉士現況把握調査」の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただきますことを重ねて感謝申し上げます。

本調査は厚生労働省が委託して、財団法人社会福祉・振興試験センターが行うものです。

今回、送付している調査票では、皆様方の「現在及び過去の就業状況」や「福祉・介護分野に対する意識」等をお伺いし、有資格者の方々の置かれている状況を十分把握することを通じて、今後さらに拡大が見込まれる福祉・介護ニーズに対応できる質の高い人材を安定的に確保するための施策に反映させていくことを目的としています。

皆様方におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見等をいただければ幸甚です。

今後も本調査のみならず、福祉・介護分野の発展に一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 20 年 9 月 18 日

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課



### 3 福祉士現況把握調査

財団法人 社会福祉・振興試験センター

この度、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の「現況把握調査」の趣旨をご理解頂き、本調査へのご協力にご同意を頂いたことについて、お礼申し上げます。

本調査は、福祉・介護分野における就労の状況や離職の理由、再就労の意向等、この分野における就労に対する意識等について現状を把握し、今後の福祉・介護人材確保対策に反映させて行くことを目的とし、厚生労働省からの委託を受け行うものです。

本調査の結果を、福祉・介護分野が、少子高齢社会を支える働きがいのある、魅力ある職業として社会的に認知され、今後さらに拡大する福祉・介護ニーズに対応できる質の高い人材を安定的に確保していくための基礎資料として活用させて頂きたいと考えておりますので、改めて本調査へのご協力をお願いいたします。

調査票は3分冊に分かれておりますが、「記入にあたってのお願い」を参考にしただき以下の「分冊の区分」に従い、該当する分冊（いずれか1冊のみ）にご回答ください。

調査票は「0 基本的事項」、「1 就業状況調査」、「2 意識調査」で構成されています。

※ 本調査は7月に行った調査で、本調査への協力に同意していただいた方にお送りしております。万が一、同意いただけていない方等に届いている場合は、ご迷惑をおかけ致しますが破棄していただきますようお願いいたします。

※ 今回の調査票を送付している住所は8月11日時点のものであり、その後に変更手続きをされた方（不備を含む。）は従前の住所等へ送付させていただいておりますのでご了承ください。

#### 分冊の区分

・平成20年7月1日時点で

1 福祉・介護分野 <sup>(※)</sup> で働いている方 → **分冊1** に記入してください

(※) 福祉・介護分野で働いている方には以下の方等が含まれます。

- ・福祉・介護サービスの提供機関（介護保険法に基づくサービスを提供する医療機関を含む）で従事している方
- ・地方公共団体において福祉・介護サービス制度の企画・立案に従事している方
- ・福祉・介護人材の養成（養成施設、福祉系高校等の教員等）に従事している方

2 福祉・介護分野以外 で働いている方 → **分冊2** に記入してください

3 働いていない方 → **分冊3** に記入してください

## —— 記入にあたってのお願い ——

1. 分冊1、2、3のうち、回答いただくのは1冊のみです。回答いただく1冊以外は破棄してください。
2. 本調査において、複数の資格を取得し、複数の封筒（調査票）が送付されている場合には、3福祉士のうち、最も活用されている（今後、活用したい）と考える資格いずれか一つの調査票のみ、ご回答頂ければ結構です。  
なお、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士ともに調査票は同じです。
3. 選択肢が用意されている質問は、当てはまる番号に指定の数だけ○を記入してください。  
また、一部の質問には金額等の数値をご記入ください。  
（○を記入する数は質問中に指定しています。）
4. 本調査は、平成20年7月1日時点の内容をご記入ください。
5. この調査票は、平成20年10月10日（金）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて投函していただきますようお願い申し上げます。なお、返信用封筒には、調査票以外は入れないでください。
6. 選択肢等の「用語の説明」については次ページをご覧ください。

**回答期限：平成20年10月10日（金）**

**照会先：**財団法人 社会福祉振興・試験センター

試験室：03-3486-7591

：厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課

福祉人材確保対策室 資格・試験係

電話：03-5253-1111

(内2845)

## — 用語の説明 —

### 1. 就業状況調査について

(※1) 下記の選択肢には、以下の施設での業務が含まれます。

① 「1 高齢者福祉関係」

➡ 老人福祉法、介護保険法に基づくサービスその他高齢者に対する福祉・介護サービス関係

例) 介護老人福祉施設、介護老人保健施設 等

② 「2 障害（児）者福祉関係」

➡ 障害者自立支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、児童福祉法（障害児関係を含む。）に基づくサービス

その他障害（児）者に対する福祉・介護サービス関係

例) 障害者支援施設、身体障害者療護施設、知的障害児施設 等

③ 「3 児童福祉関係」

➡ 児童福祉法（障害児関係を除く。）に基づくサービスその他児童・家庭福祉に関するサービス関係

例) 保育所、児童養護施設 等

④ 「4 生活保護関係」

➡ 生活保護法に基づく施設

例) 救護施設、更生施設 等

**(※2)** 下記の選択肢には、以下の施設での業務が含まれます。

① 「1 入所施設」

- 例) ・介護保険施設 (介護保険法)  
・障害者支援施設 (障害者自立支援法)  
・児童養護施設 (児童福祉法) 等

② 「2 通所施設」

- 例) ・通所介護 (介護保険法)  
・通所リハビリテーション (介護保険法)  
・生活介護 (通所) (障害者自立支援法) 等

③ 「3 在宅サービス」

- 例) ・訪問介護 (介護保険法)  
・短期入所生活介護 (介護保険法)  
・認知症高齢者グループホーム (介護保険法)  
・特定施設入居者生活介護 (介護保険法)  
・共同生活援助、共同生活介護 (障害者自立支援法) 等

**(※3)** 「給与」とは、労働契約、労働協約あるいは、事業所の就業規則などによってあらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給された現金給与額をいいます。(手取額ではなく税込みの額)

現金給与額には、基本給、職務手当、精皆勤手当、通勤手当、家族手当などが含まれるほか、超過労働給与額 (いわゆる残業代) も含みます。

**(※4)** 「働いている業種について～」欄の選択肢「1 福祉・介護分野」は以下の業務等に従事している方が含まれます。

- ・福祉・介護サービスの提供機関 (介護保険法に基づくサービスを提供する医療機関を含む。) で従事している方
- ・地方公共団体において福祉・介護サービス制度の企画・立案に従事している方
- ・福祉・介護人材の養成 (養成施設、福祉系高校等の教員等) に従事している方

### 3 福祉士現況把握調査

(平成20年7月1日時点の状況でご回答ください。)

なお、問番号の下に「※1、※2」等の印がある場合は別冊「記入に当たってのお願い」の中に「用語の説明」がありますので、ご参照いただき回答してください。

0. 基本的事項		福祉・介護分野で働いている方にお聞きします。																												
問1	現在、お住まいの都道府県・市・郡部名を（ ）内に記入し、該当する都道府県・市・区・郡へ○を記入してください。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%; border: none;">〔</td> <td style="width: 20%; border: none;">都 道</td> <td style="width: 20%; border: none;">〔</td> <td style="width: 20%; border: none;">市・区</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">〕</td> <td style="border: none;">府 県</td> <td style="border: none;">〕</td> <td style="border: none;">郡</td> </tr> </table>		〔	都 道	〔	市・区	〕	府 県	〕	郡																			
〔	都 道	〔	市・区																											
〕	府 県	〕	郡																											
問2	あなたの性別及び年齢について該当する番号1つに○を記入してください。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">(1) 性別</td> <td style="width: 15%;">1 男性</td> <td style="width: 15%;">2 女性</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2) 年齢</td> <td>1 20歳未満</td> <td>2 20～24歳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 25～29歳</td> <td>4 30～34歳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 35～39歳</td> <td>6 40～44歳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>7 45～49歳</td> <td>8 50～54歳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>9 55～59歳</td> <td>10 60～64歳</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>11 65歳以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		(1) 性別	1 男性	2 女性		(2) 年齢	1 20歳未満	2 20～24歳		3 25～29歳	4 30～34歳			5 35～39歳	6 40～44歳			7 45～49歳	8 50～54歳			9 55～59歳	10 60～64歳			11 65歳以上		
(1) 性別	1 男性	2 女性																												
(2) 年齢	1 20歳未満	2 20～24歳																												
	3 25～29歳	4 30～34歳																												
	5 35～39歳	6 40～44歳																												
	7 45～49歳	8 50～54歳																												
	9 55～59歳	10 60～64歳																												
	11 65歳以上																													
問3	<p>あなたが所有している福祉・介護に関わる資格等に該当する番号及び「昭和＝S、平成＝H」のいずれかに○を記入し、その取得年度を記入してください。(複数選択可)</p> <p>なお、選択肢「1 社会福祉士」、「2 介護福祉士」及び「3 精神保健福祉士」のうち、複数に該当する方については、実際に担当している業務の中で最も活用していると考える資格に◎を記入してください。(→ なお、選択肢「1」、「2」、「3」で複数選択された方は、以降の質問は◎を付した資格の立場からお答えください。)</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 社会福祉士 (S・H 年)</td> <td style="width: 50%;">2 介護福祉士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>3 精神保健福祉士 (S・H 年)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px dotted black;"></td> </tr> <tr> <td>4 社会福祉主事 (S・H 年)</td> <td>5 介護支援専門員 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>6 ホームヘルパー (S・H 年)</td> <td>7 保育士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>8 看護師 (S・H 年)</td> <td>9 准看護師 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>10 保健師 (S・H 年)</td> <td>11 理学療法士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>12 作業療法士 (S・H 年)</td> <td>13 臨床心理士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>14 言語聴覚士 (S・H 年)</td> <td>15 教科「福祉」の高等学校教育免許 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>16 その他 ( ) (S・H 年)</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※その他の場合、( )に資格の名称をご記入ください。</p>		1 社会福祉士 (S・H 年)	2 介護福祉士 (S・H 年)	3 精神保健福祉士 (S・H 年)				4 社会福祉主事 (S・H 年)	5 介護支援専門員 (S・H 年)	6 ホームヘルパー (S・H 年)	7 保育士 (S・H 年)	8 看護師 (S・H 年)	9 准看護師 (S・H 年)	10 保健師 (S・H 年)	11 理学療法士 (S・H 年)	12 作業療法士 (S・H 年)	13 臨床心理士 (S・H 年)	14 言語聴覚士 (S・H 年)	15 教科「福祉」の高等学校教育免許 (S・H 年)	16 その他 ( ) (S・H 年)								
1 社会福祉士 (S・H 年)	2 介護福祉士 (S・H 年)																													
3 精神保健福祉士 (S・H 年)																														
4 社会福祉主事 (S・H 年)	5 介護支援専門員 (S・H 年)																													
6 ホームヘルパー (S・H 年)	7 保育士 (S・H 年)																													
8 看護師 (S・H 年)	9 准看護師 (S・H 年)																													
10 保健師 (S・H 年)	11 理学療法士 (S・H 年)																													
12 作業療法士 (S・H 年)	13 臨床心理士 (S・H 年)																													
14 言語聴覚士 (S・H 年)	15 教科「福祉」の高等学校教育免許 (S・H 年)																													
16 その他 ( ) (S・H 年)																														

問4	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の資格取得方法について該当する番号に○を記入してください。	
	1 福祉系大学等で指定科目を修めて卒業し、国家試験を受験して取得	
	2 福祉系大学等で基礎科目を修めて卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士短期養成施設で6月以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得	
	3 一般大学等を卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得	
	4 4年以上の実務経験を経て、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得	
	5 介護福祉士養成施設等で一定の養成課程を修めて取得	
	6 一定の実務経験のみをもって国家試験を受験して取得	
	7 福祉系高等学校等を卒業し、国家試験を受験して取得	
問5	あなたが社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を取得した動機について該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)	
	1 専門職としての知識・技術を得るため	2 他の専門職から専門職として認めもらうため
	3 職場から資格取得を求められた(勧められた)ため	4 他の職員を指導する立場になる(なった)ため
	5 社会的評価を得るため	6 就職・転職に有利なため
	7 収入の安定のため	8 資格手当がほしいため
	9 卒業したら資格が取れた(受験できた)ため	
	10 その他 ( )	
	11 特になし	

## 1. 就業状況調査

問6 (※1)	あなたが働いている分野で該当する番号1つに○を記入してください。			
	1 高齢者福祉関係(介護保険関係サービス含む。)			
	2 障害(児)者福祉関係(障害者自立支援法によるサービスを含む。)			
	3 児童福祉関係			
	4 生活保護関係			
	5 福祉・介護教育関係			
	6 その他 ( )			
問7 (※2)	あなたが働いている施設・事業所で該当する番号1つに○を記入してください。なお、複数の事業所等を兼務している場合は勤務時間が最も長い事業所等の番号を1つ選択してください。			
	1 入所施設	2 通所施設	3 在宅サービス	
	4 行政機関(相談援助機関を除く)	5 相談援助機関	6 教育機関	
	7 その他 ( )			
	問8	問7で選択した施設・事業所を運営する法人の種別で該当する番号1つに○を記入してください。		
		1 民間企業	2 社会福祉協議会	
		3 2以外の社会福祉法人	4 医療法人	
5 特定非営利活動(NPO)法人		6 社団法人・財団法人		
7 協同組合(農協・生協)		8 地方自治体(市区町村)		
9 その他 ( )				



問9	あなたが働いている施設・事業所では、管理者も含めて何人くらい働いていますか（理事・監事等の役員を除き、施設長を含め働いている職員の数）。該当する番号1つに○を記入してください。		
	1 10人未満	2 10人～29人	3 30人～49人
	4 50人～69人	5 70人～99人	6 100人以上
問10	あなたが働いている職種で該当する番号1つに○を記入してください。なお、複数の職種等を兼務している場合は勤務時間が最も長い職種の番号を1つ選択してください。		
	1 経営者		
	2 施設長・管理者		
	3 相談員・指導員		
	4 サービス提供責任者（問7で「3 在宅サービス」と回答した方に限ります。）		
	5 介護職員		
	6 ホームヘルパー		
	7 看護職員		
	8 リハビリテーション職員		
	9 事務職員		
	10 教員・研究職		
	11 その他（ ）		
問11	あなたの雇用形態について該当する番号1つに○を記入してください。		
	1 正規職員 2 非正規職員		
	※ 正規職員以外の職員をいいます。 例) 契約職員、派遣職員、登録ヘルパー、嘱託職員、随時的雇用者、パートタイム労働者等		
問12	あなたの働いている職場での就業規則についてお聞きします。		
	(1) あなたの職場には給与規程等含む就業規則がありますか。		
	1 ある → (2) も答え、問13へ 2 ない → 問13へ 3 わからない → 問13へ		
	(2) (1) で「ある」と答えた方にお聞きします。その就業規則の内容をご存じですか。		
	1 知っている 2 知らない		
問13 (※3)	あなたのきまって支給される給与についてお聞きします。あなたの月給（非正規職員の方は月給・日給・時給のいずれか1つ）は平均してどのくらいですか。（百円未満は四捨五入してください。（時給を除く。））		
	(1) 正規職員	月 給	（ 円/月）
	(2) 非正規職員	月 給	（ 円/月）
		日 給	（ 円/日）
		時 給	（ 円/時）
問14	問13の給与のうち、1ヶ月間におけるあなたの職場での資格手当及び役職手当はどのくらいですか。（百円未満は四捨五入してください。）		
	(1) 資格手当	（ 円/月）	
	(2) 役職手当	（ 円/月）	
	(3) 定められていない		

問15	問13の給与の他に、年間賞与についてお聞きします。(百円未満は四捨五入してください。)
	<p>(1) 年間賞与はありますか。</p> <p>1 ある → (2) も答え、問16へ</p> <p>2 ない → 問16へ</p> <p>(2) (1) で「1 ある」と回答された方にお聞きします。年間賞与額は合計でどのくらいですか。(百円未満は四捨五入してください。)</p> <p>年間賞与 (計 円)</p>
問16	あなたの現在の職場で1年間働いた場合の基本給の昇給額(昇給した差額)についてお聞きします。
	<p>(1) 毎年度、定期昇給していますか。</p> <p>1 している → (2) も答え、問17へ</p> <p>2 していない → 問17へ</p> <p>(2) 直近の昇給額を記入し、月給・日給・時給のいずれかに○を記入してください。</p> <p>月給・日給・時給 ( 円)</p>
問17	あなたの直近、一週間あたりの労働時間、労働日数(夜勤、残業を除く)及び夜勤回数は通常どのくらいですか。(整数で記入してください。なお、実績がない場合は「0」を記入してください。)
	<p>(1) 労働時間 ( 時間/週)</p> <p>※30分以上の場合は切り上げて、「1時間」としてください。</p>
	<p>(2) 労働日数 ( 日間/週)</p> <p>(3) 夜勤回数 ( 回/週)</p> <p>※労働時間の長短に関わらず、実績がある場合は「1日」及び「1回」としてください。</p>
問18	あなたの現在の職場において、定められている有給休暇日数及び実際にあなたが取得した有給休暇日数はどのくらいですか。(なお、実績がない場合は「0」を記入してください。)
	<p>(1) 職場で定められている有給休暇日数 ( 日/年)</p> <p>(2) 実際に取得した有給休暇日数 ( 日/年)</p>
問19	あなたの現在の職場での人事異動についてお聞きします。
	<p>(1) あなたの職場で人事異動はありますか。</p> <p>1 ある → (2) も答え、問20へ</p> <p>2 ない → 問20へ</p> <p>(2) (1) で「ある」と答えた方にお聞きします。どのくらいのペースで異動していますか。</p> <p>1 1年未満                      2 1年以上～2年未満                      3 2年以上～3年未満</p> <p>4 3年以上～4年未満                      5 4年以上～5年未満                      6 5年以上</p> <p>7 不定期                                      8 わからない</p>
問20	あなたが現在の職場を探した方法について該当する番号1つに○を記入してください。
	<p>1 福祉人材センターの無料職業紹介                      2 ハローワークの無料職業紹介</p> <p>3 民間の職業紹介    4 法人等による就職説明会</p> <p>5 法人等のホームページ                                      6 知人からの紹介</p> <p>7 前の職場からの紹介    8 学校・養成施設等での進路指導</p> <p>9 新聞・折込チラシ    10 求人・就職情報誌、求人情報サイト</p> <p>11 実習・施設見学    12 行政広報誌(区報・市報等)</p> <p>13 その他 ( )</p>



## 2. 意識調査

問26	<p>現在の職場で働こうと決めた理由について該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 働きがいのある仕事だと思ったから</li> <li>2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから</li> <li>3 子どもの頃からの希望だったから</li> <li>4 人や社会の役に立ちたいから</li> <li>5 給与等、収入が良いから</li> <li>6 労働時間、休日等の労働条件が良いから</li> <li>7 正規職員として働けるから</li> <li>8 通勤が便利だから</li> <li>9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから</li> <li>10 研修や職員教育が充実していたから</li> <li>11 資格を取得するために必要だったから</li> <li>12 福利厚生が充実していたから</li> <li>13 子育てを行う環境が充実しているから</li> <li>14 技能や資格を身につけられると思ったから</li> <li>15 施設運営やサービス方針等に共感したから</li> <li>16 規模、安定性、将来性があったから</li> <li>17 職場の人間関係が良好そうであったから</li> <li>18 経営者や人事担当者の人柄から</li> <li>19 その他 ( )</li> </ol>			
問27	<p>現在の職場での就業の継続の意向についてお聞きます。</p> <p>(1) 今後も現在の職場での就業の継続を希望しますか。</p> <table style="border: none;"> <tr> <td style="vertical-align: middle;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在の職場で働きたい</li> <li>2 同一経営者の他の施設・事業所で働きたい</li> <li>3 他の経営者の施設・事業所で働きたい</li> <li>4 福祉・介護分野から離れたい</li> </ol> </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;"> <p>(2) も答え、問28へ</p> <p>→ 問28へ</p> </td> </tr> </table> <p>(2) 「(1)」で選択肢「1～3」を選択された方にお聞きます。職種についてはどのようにお考えですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在と同じ職種で働きたい</li> <li>2 他の職種で働きたい</li> <li>3 その他 ( )</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在の職場で働きたい</li> <li>2 同一経営者の他の施設・事業所で働きたい</li> <li>3 他の経営者の施設・事業所で働きたい</li> <li>4 福祉・介護分野から離れたい</li> </ol>	}	<p>(2) も答え、問28へ</p> <p>→ 問28へ</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現在の職場で働きたい</li> <li>2 同一経営者の他の施設・事業所で働きたい</li> <li>3 他の経営者の施設・事業所で働きたい</li> <li>4 福祉・介護分野から離れたい</li> </ol>	}	<p>(2) も答え、問28へ</p> <p>→ 問28へ</p>		
問28	<p>資格取得後にメリットはありましたか。該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 資格手当等の給与が上がった</li> <li>2 昇格・昇進につながった</li> <li>3 希望していた職種に就くことができた</li> <li>4 就職の際に有利だった</li> <li>5 利用者等からの信用度が上がった</li> <li>6 自信を持って業務に取り組むことができるようになった</li> <li>7 他の専門職から専門職として認められるようになった</li> <li>8 特に変化はない</li> <li>9 その他 ( )</li> </ol>			

問29	<p>仕事を行う上での不満や悩みについてお聞きします。該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)</p> <table border="0"> <tr> <td>1 仕事にやりがいがない</td> <td>2 職場の人間関係が悪い</td> </tr> <tr> <td>3 給与・諸手当が低い</td> <td>4 非正規職員から正規職員になれない</td> </tr> <tr> <td>5 昇進等、将来の見通しがない</td> <td>6 社会的な評価が低い</td> </tr> <tr> <td>7 夜勤や休日出勤など不規則である</td> <td>8 業務の負担や責任が重すぎる</td> </tr> <tr> <td>9 仕事がつくて体力的に不安がある</td> <td>10 仕事と家庭の両立が難しい</td> </tr> <tr> <td>11 福利厚生に不満</td> <td>12 通勤に不便である</td> </tr> <tr> <td>13 自分の能力を伸ばすゆとりがない</td> <td>14 利用者とのコミュニケーションがうまくとれない</td> </tr> <tr> <td>15 その他 ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 特にない</td> <td></td> </tr> </table>	1 仕事にやりがいがない	2 職場の人間関係が悪い	3 給与・諸手当が低い	4 非正規職員から正規職員になれない	5 昇進等、将来の見通しがない	6 社会的な評価が低い	7 夜勤や休日出勤など不規則である	8 業務の負担や責任が重すぎる	9 仕事がつくて体力的に不安がある	10 仕事と家庭の両立が難しい	11 福利厚生に不満	12 通勤に不便である	13 自分の能力を伸ばすゆとりがない	14 利用者とのコミュニケーションがうまくとれない	15 その他 ( )		16 特にない	
1 仕事にやりがいがない	2 職場の人間関係が悪い																		
3 給与・諸手当が低い	4 非正規職員から正規職員になれない																		
5 昇進等、将来の見通しがない	6 社会的な評価が低い																		
7 夜勤や休日出勤など不規則である	8 業務の負担や責任が重すぎる																		
9 仕事がつくて体力的に不安がある	10 仕事と家庭の両立が難しい																		
11 福利厚生に不満	12 通勤に不便である																		
13 自分の能力を伸ばすゆとりがない	14 利用者とのコミュニケーションがうまくとれない																		
15 その他 ( )																			
16 特にない																			
問30	<p>現在の仕事を続けていく上で改善して欲しいことについて該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)</p> <table border="0"> <tr><td>1 資格に見合った給与水準に引き上げる</td></tr> <tr><td>2 経験に見合った給与体系の構築</td></tr> <tr><td>3 希望する研修等を受けられるようにする</td></tr> <tr><td>4 労働時間を短縮する</td></tr> <tr><td>5 研修等の内容を充実する</td></tr> <tr><td>6 有資格者のキャリアアップの仕組みを構築する</td></tr> <tr><td>7 作成書類の軽減等、事務作業の効率化・省力化を図る</td></tr> <tr><td>8 有給休暇や育児休業等の取得しやすい環境整備を整える</td></tr> <tr><td>9 社会的な評価を向上させる</td></tr> <tr><td>10 福利厚生を充実させる</td></tr> <tr><td>11 子育てを行う支援体制の充実</td></tr> <tr><td>12 腰痛対策のため福祉用具等の活用等を図る</td></tr> <tr><td>13 メンタルヘルス対策の充実</td></tr> <tr><td>14 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント防止策の充実</td></tr> <tr><td>15 その他 ( )</td></tr> <tr><td>16 特にない</td></tr> </table> <p>《問27 (1) で「1～3」と回答した方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》</p>	1 資格に見合った給与水準に引き上げる	2 経験に見合った給与体系の構築	3 希望する研修等を受けられるようにする	4 労働時間を短縮する	5 研修等の内容を充実する	6 有資格者のキャリアアップの仕組みを構築する	7 作成書類の軽減等、事務作業の効率化・省力化を図る	8 有給休暇や育児休業等の取得しやすい環境整備を整える	9 社会的な評価を向上させる	10 福利厚生を充実させる	11 子育てを行う支援体制の充実	12 腰痛対策のため福祉用具等の活用等を図る	13 メンタルヘルス対策の充実	14 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント防止策の充実	15 その他 ( )	16 特にない		
1 資格に見合った給与水準に引き上げる																			
2 経験に見合った給与体系の構築																			
3 希望する研修等を受けられるようにする																			
4 労働時間を短縮する																			
5 研修等の内容を充実する																			
6 有資格者のキャリアアップの仕組みを構築する																			
7 作成書類の軽減等、事務作業の効率化・省力化を図る																			
8 有給休暇や育児休業等の取得しやすい環境整備を整える																			
9 社会的な評価を向上させる																			
10 福利厚生を充実させる																			
11 子育てを行う支援体制の充実																			
12 腰痛対策のため福祉用具等の活用等を図る																			
13 メンタルヘルス対策の充実																			
14 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント防止策の充実																			
15 その他 ( )																			
16 特にない																			
<p><b>問27 (1) で「4 福祉・介護分野から離れたい」と回答された方のみにお聞きします。</b></p>																			
問31	<p>問27 (1) で「4 福祉・介護分野から離れたい」とされた理由をお聞かせください。(自由記載)</p>																		

《質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》

## ご 案 内

3 福祉士現況把握調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今後、厚生労働省といたしましては、都道府県・関係団体等と連携を図りつつ、福祉・介護人材を安定的に確保し、その定着を支援する観点から、研修会の実施等様々な取組を行っていくことを検討しています。

つきましては、今後、厚生労働省や都道府県、関係団体等が行う研修会等の内容について、皆様方に情報提供をしたいと考えておりますが、こうした情報提供を希望される方は、下記に「氏名」及び「現住所」をご記入いただきますようお願いいたします。

なお、下記にご記入いただいた「氏名」・「現住所」は、都道府県・市区町村が独自に行う研修会等を都道府県等から情報提供させていただく観点から、都道府県等へ提供する場合を除き、皆様方への情報提供を行う場合にのみ活用させていただくものです。

ご提出いただいた調査票を名前入りで公表することはありませんので、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

氏 名	
現住所	〒 都 道 府 県



問 5	あなたが社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を取得した動機について該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)	
	1 専門職としての知識・技術を得るため 3 職場から資格取得を求められた(勧められた)ため 5 社会的評価を得るため 7 収入の安定のため 9 卒業したら資格が取れた(受験できた)ため 10 その他( ) 11 特になし	2 他の専門職から専門職として認めてもらうため 4 他の職員を指導する立場になる(なった)ため 6 就職・転職に有利なため 8 資格手当がほしいため

## 1. 就業状況調査

問 6	あなたが働いている業種について該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 病院・診療所(介護保険法に基づくサービスを提供する医療機関以外) 3 鉱業 5 製造業 7 情報通信業 9 卸売・小売業 11 不動産業 13 教育、学習支援業(福祉に関する職種以外) 15 公務員(福祉に関する職種以外) 16 その他( )	2 農業・林業・漁業 4 建設業 6 電気・ガス・熱供給・水道業 8 運輸業 10 金融・保険業 12 飲食店、宿泊業 14 サービス業
問 7	あなたの雇用形態について該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 正規職員 2 非正規職員 ※ 正規職員以外の職員をいいます。例) 契約職員、派遣職員、嘱託職員、臨時的雇用者、パートタイム労働者等	
問 8	現在の職場でどれぐらいの期間働いていますか。	
	( 年      ヶ月)	
問 9 (※3)	あなたのきまって支給される給与についてお聞きます。あなたの月給(非正規職員の方は月給・日給・時給のいずれか1つ)は平均してどのくらいですか。(百円未満は四捨五入してください。(時給を除く。))	
	(1) 正規職員              月 給      (              円/月) (2) 非正規職員            月 給      (              円/月) 日 給      (              円/日) 時 給      (              円/時)	
問10	あなたの直近、1週間あたりの労働時間(夜勤・残業を除く)及び労働日数は平均してどのくらいですか。(整数で記入してください。なお、実績がない場合は「0」を記入してください。)	
	(1) 労働時間(              時間/週) ※30分以上の場合は切り上げて、「1時間」としてください。	
		(2) 労働日数(              日/週) ※労働時間の長短に関わらず、実績がある場合は「1日」としてください。
問11	あなたの現在の職場において、定められている有給休暇日数及び実際にあなたが取得した有給休暇日数はどのくらいですか。(なお、実績がない場合は「0」を記入してください。)	
	(1) 職場で定められている有給休暇日数 (              日/年) (2) 実際に取得した有給休暇日数 (              日/年)	



問12	問9の給与の他に、年間賞与についてお聞きします。(百円未満は四捨五入してください。)	
	(1) 年間賞与はありますか。 1 ある → (2) も答え、問13へ 2 ない → 問13へ (2) (1)で「1 ある」と回答された方にお聞きします。年間賞与額は合計でどのくらいですか。(百円未満は四捨五入してください。) 年間賞与(計 円)	
問13	あなたが現在の職場を探した方法について該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 ハローワークの無料職業紹介 3 法人等による就職説明会 5 知人からの紹介 7 求人・就職情報誌、求人情報サイト 9 その他( )	2 民間の職業紹介 4 法人等のホームページ 6 新聞・折込チラシ 8 行政広報誌(区報・市報等)
問14	あなたは、これまで福祉・介護分野の仕事をしたことがありますか。	
	1 はい → 問15へ 2 いいえ → 問33へ	
問14で「1 はい」と答えた方は問15へ進み、ご回答ください。 「2 いいえ」と答えた方は問33へ進み、ご回答ください。		
問15	あなたの福祉・介護分野で従事した期間についてお聞きします。	
	(1) 福祉・介護分野で従事されていたのはどのくらい前ですか ( 年 ヶ月前) (2) その職場ではどれくらいの期間働かれましたか。 ( 年 ヶ月) (3) その職場以前に、福祉・介護関係の職場(職場内での異動は含まない。)で何回、転職していますか。( 回)	
問16 (※1)	あなたが働いていた直近の福祉・介護分野で該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 高齢者福祉関係(介護保険関係サービス含む) 2 障害(児)者福祉関係(障害者自立支援法によるサービスを含む) 3 児童福祉関係 4 生活保護関係 5 福祉・介護教育関係 6 その他( )	
問17 (※2)	あなたが働いていた直近の施設・事業所で該当する番号1つに○を記入してください。なお、複数の事業所等を兼務している場合は勤務時間が最も長い事業所等の番号を1つ選択してください。	
	1 入所施設 3 在宅サービス 5 相談援助機関 7 その他( )	2 通所施設 4 行政機関(相談援助機関を除く) 6 教育機関
問18	問17で選択した施設・事業所を運営する法人の種別で該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 民間企業 3 2以外の社会福祉法人 5 特定非営利活動(NPO)法人 7 協同組合(農協・生協) 9 その他( )	2 社会福祉協議会 4 医療法人 6 社団法人・財団法人 8 地方自治体(市区町村)

問19	あなたが働いていた直近の施設・事業所では、管理者も含めて何人くらい働いていましたか（理事・監事等の役員を除き、施設長を含め働いている職員の数）該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 10人未満 3 30人～49人 5 70人～99人	2 10人～29人 4 50人～69人 6 100人以上
問20	あなたが働いていた直近の職種で該当する番号1つに○を記入してください。なお、複数の職種等を兼務している場合は勤務時間が最も長い職種の番号を1つ選択してください。	
	1 経営者 3 相談員・指導員 5 介護職員 7 看護職員 9 事務職員 11 その他（	2 施設長・管理者 4 サービス提供責任者（問17で「3 在宅サービス」と回答した方に限る。） 6 ホームヘルパー 8 リハビリテーション職員 10 教員・研究職
問21	当時のあなたの直近の職場の雇用形態について該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 正規職員 2 非正規職員 ※ 正規職員以外の職員をいいます。例) 契約職員、派遣職員、登録ヘルパー、嘱託職員、臨時的雇用者、パートタイム労働者等	
問22 (※3)	当時のあなたの直近の職場のきまって支給されていた給与についてお聞きます。あなたの月給（非正規職員の方は月給・日給・時給のいずれか一つ）は平均してどのくらいでしたか。（百円未満は四捨五入してください。（時給を除く。））	
	(1) 正規職員 (2) 非正規職員	月給 ( 円/月) 日給 ( 円/日) 時給 ( 円/時)
問23	問22の給与の他に、年間賞与についてお聞きます。（百円未満は四捨五入してください。）	
	(1) 年間賞与はありましたか。 1 あった → (2) も答え、問24へ 2 ない → 問24へ (2) (1) で「1 あった」と回答された方にお聞きます。年間賞与額は合計でどのくらいでしたか。（百円未満は四捨五入してください。） 年間賞与 (計 円)	
問24	当時のあなたの直近の職場での一週間あたりの労働時間、労働日数（夜勤、残業を除く）及び夜勤回数は通常どのくらいですか。（整数で記入してください。なお、実績がない場合は「0」を記入してください。）	
	(1) 労働時間 ( 時間/週) ※30分以上の場合は切り上げて、「1時間」としてください。	
	(2) 労働日数 ( 日/週) (3) 夜勤回数 ( 回/週) ※労働時間の長短に関わらず、実績がある場合は「1日」及び「1回」としてください。	
問25	当時のあなたの直近の職場において、定められている有給休暇日数及び実際にあなたが取得した有給休暇日数はどのくらいでしたか。（なお、実績がない場合は「0」を記入してください。）	
	(1) 職場で定められている有給休暇日数 ( 日/年) (2) 実際に取得した有給休暇日数 ( 日/年)	

## 2. 意識調査

問26	あなたが福祉・介護分野で働こうと決めた理由に該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)																				
	<table border="0"> <tr> <td>1 働きがいのある仕事だと思ったから</td> <td>2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから</td> </tr> <tr> <td>3 子どもの頃からの希望だったから</td> <td>4 人や社会の役に立ちたいから</td> </tr> <tr> <td>5 給与等、収入が良いから</td> <td>6 労働時間、休日等の労働条件が良いから</td> </tr> <tr> <td>7 正規職員として働けるから</td> <td>8 通勤が便利だから</td> </tr> <tr> <td>9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから</td> <td>10 資格を取得するために必要だったから</td> </tr> <tr> <td>11 研修や職員教育が充実していたから</td> <td>12 福利厚生が充実していたから</td> </tr> <tr> <td>13 子育てを行う環境が充実しているから</td> <td>14 技能や資格を身につけられると思ったから</td> </tr> <tr> <td>15 施設運営やサービス方針等に共感したから</td> <td>16 規模、安定性、将来性があったから</td> </tr> <tr> <td>17 職場の人間関係が良好そうであったから</td> <td>18 経営者や人事担当者の人柄から</td> </tr> <tr> <td>19 その他 ( )</td> <td></td> </tr> </table>	1 働きがいのある仕事だと思ったから	2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから	3 子どもの頃からの希望だったから	4 人や社会の役に立ちたいから	5 給与等、収入が良いから	6 労働時間、休日等の労働条件が良いから	7 正規職員として働けるから	8 通勤が便利だから	9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから	10 資格を取得するために必要だったから	11 研修や職員教育が充実していたから	12 福利厚生が充実していたから	13 子育てを行う環境が充実しているから	14 技能や資格を身につけられると思ったから	15 施設運営やサービス方針等に共感したから	16 規模、安定性、将来性があったから	17 職場の人間関係が良好そうであったから	18 経営者や人事担当者の人柄から	19 その他 ( )	
1 働きがいのある仕事だと思ったから	2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから																				
3 子どもの頃からの希望だったから	4 人や社会の役に立ちたいから																				
5 給与等、収入が良いから	6 労働時間、休日等の労働条件が良いから																				
7 正規職員として働けるから	8 通勤が便利だから																				
9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから	10 資格を取得するために必要だったから																				
11 研修や職員教育が充実していたから	12 福利厚生が充実していたから																				
13 子育てを行う環境が充実しているから	14 技能や資格を身につけられると思ったから																				
15 施設運営やサービス方針等に共感したから	16 規模、安定性、将来性があったから																				
17 職場の人間関係が良好そうであったから	18 経営者や人事担当者の人柄から																				
19 その他 ( )																					
問27	福祉・介護の職場を辞めた理由について該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)																				
	<table border="0"> <tr> <td>1 職員間の人間関係が良くないため</td> <td>2 利用者との人間関係が良くないため</td> </tr> <tr> <td>3 仕事の内容がきついため</td> <td>4 給与等の労働条件が悪いため</td> </tr> <tr> <td>5 昇進・正規職員への登用等、将来の見通しが見えないため</td> <td>6 研修や職員教育が不十分だから</td> </tr> <tr> <td>7 夜勤や不規則勤務等があるため</td> <td>8 法人の事業不振・人員整理等のため</td> </tr> <tr> <td>9 体力に自信がないため</td> <td>10 仕事にやりがいがないため</td> </tr> <tr> <td>11 専門性が評価されていないため</td> <td>12 体調を崩したため</td> </tr> <tr> <td>13 結婚のため</td> <td>14 出産・育児のため</td> </tr> <tr> <td>15 家族等の介護・看護のため</td> <td>16 転居のため</td> </tr> <tr> <td>17 その他 ( )</td> <td></td> </tr> </table>	1 職員間の人間関係が良くないため	2 利用者との人間関係が良くないため	3 仕事の内容がきついため	4 給与等の労働条件が悪いため	5 昇進・正規職員への登用等、将来の見通しが見えないため	6 研修や職員教育が不十分だから	7 夜勤や不規則勤務等があるため	8 法人の事業不振・人員整理等のため	9 体力に自信がないため	10 仕事にやりがいがないため	11 専門性が評価されていないため	12 体調を崩したため	13 結婚のため	14 出産・育児のため	15 家族等の介護・看護のため	16 転居のため	17 その他 ( )			
1 職員間の人間関係が良くないため	2 利用者との人間関係が良くないため																				
3 仕事の内容がきついため	4 給与等の労働条件が悪いため																				
5 昇進・正規職員への登用等、将来の見通しが見えないため	6 研修や職員教育が不十分だから																				
7 夜勤や不規則勤務等があるため	8 法人の事業不振・人員整理等のため																				
9 体力に自信がないため	10 仕事にやりがいがないため																				
11 専門性が評価されていないため	12 体調を崩したため																				
13 結婚のため	14 出産・育児のため																				
15 家族等の介護・看護のため	16 転居のため																				
17 その他 ( )																					
問28	もう一度、福祉・介護分野に戻りたいと思いますか。																				
	<table border="0"> <tr> <td>1 是非戻りたい</td> <td rowspan="2">} → 問29へ</td> </tr> <tr> <td>2 条件があれば戻りたい</td> </tr> <tr> <td>3 戻りたくない</td> <td rowspan="2">} → 問31へ</td> </tr> <tr> <td>4 わからない</td> </tr> </table>	1 是非戻りたい	} → 問29へ	2 条件があれば戻りたい	3 戻りたくない	} → 問31へ	4 わからない														
1 是非戻りたい	} → 問29へ																				
2 条件があれば戻りたい																					
3 戻りたくない	} → 問31へ																				
4 わからない																					
<p><b>問28で「1」又は「2」と答えた方は問29へ進み、ご回答ください。</b>  <b>「3」又は「4」と答えた方は問31へ進み、ご回答ください。</b></p>																					
問29	問28で「1 是非戻りたい」、「2 条件があれば戻りたい」と回答された方にお聞きます。どのくらいの期間を目途に福祉・介護分野に復帰したいと考えますか。																				
	<table border="0"> <tr> <td>1 1年以内</td> <td>2 2年以内</td> <td>3 決めていない</td> </tr> </table>	1 1年以内	2 2年以内	3 決めていない																	
1 1年以内	2 2年以内	3 決めていない																			
問30	福祉・介護分野に復帰するとした場合に、どのような手段を通じて仕事を探しますか。該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)																				
	<table border="0"> <tr> <td>1 福祉人材センターの無料職業紹介</td> <td>2 ハローワークの無料職業紹介</td> </tr> <tr> <td>3 民間の職業紹介</td> <td>4 法人等による就職説明会</td> </tr> <tr> <td>5 法人等のホームページ</td> <td>6 知人からの紹介</td> </tr> <tr> <td>7 前の職場からの紹介</td> <td>8 学校・養成施設等での進路指導</td> </tr> <tr> <td>9 新聞・折込チラシ</td> <td>10 求人・就職情報誌、求人情報サイト</td> </tr> <tr> <td>11 実習・施設見学</td> <td>12 行政広報誌(区報・市報等)</td> </tr> <tr> <td>13 その他 ( )</td> <td></td> </tr> </table>	1 福祉人材センターの無料職業紹介	2 ハローワークの無料職業紹介	3 民間の職業紹介	4 法人等による就職説明会	5 法人等のホームページ	6 知人からの紹介	7 前の職場からの紹介	8 学校・養成施設等での進路指導	9 新聞・折込チラシ	10 求人・就職情報誌、求人情報サイト	11 実習・施設見学	12 行政広報誌(区報・市報等)	13 その他 ( )							
1 福祉人材センターの無料職業紹介	2 ハローワークの無料職業紹介																				
3 民間の職業紹介	4 法人等による就職説明会																				
5 法人等のホームページ	6 知人からの紹介																				
7 前の職場からの紹介	8 学校・養成施設等での進路指導																				
9 新聞・折込チラシ	10 求人・就職情報誌、求人情報サイト																				
11 実習・施設見学	12 行政広報誌(区報・市報等)																				
13 その他 ( )																					

問31	福祉・介護分野へ就職するために改善してほしいことについて、該当する番号に○を記入してください。 (3つ以内)																	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 資格に見合った給与水準に引き上げる</li> <li>2 経験に見合った給与体系の構築</li> <li>3 希望する研修等を受けられるようにする</li> <li>4 労働時間を短縮する</li> <li>5 研修等の内容を充実する</li> <li>6 有資格者のキャリアアップの仕組みを構築する</li> <li>7 作成書類の軽減等、事務作業の効率化・省力化を図る</li> <li>8 有給休暇や育児休業等の取得しやすい環境整備を整える</li> <li>9 社会的な評価を向上させる</li> <li>10 福利厚生を充実させる</li> <li>11 子育てを行う支援体制の充実</li> <li>12 腰痛対策のため福祉用具等の活用等を図る</li> <li>13 メンタルヘルス対策の充実</li> <li>14 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント防止策の充実</li> <li>15 その他 ( )</li> <li>16 特にない</li> </ul>																	
問32	問31で回答した点を改善するためには、どのような対策が必要であると考えますか。(自由記載)																	
	<p>《問14で「1 はい」と答えた方の質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》</p> <p><b>問14で「2 いいえ」と回答された方へお聞きします。</b></p>																	
問33	あなたが就職する際に、就業先として福祉・介護分野は検討の対象に入っていましたか。																	
	1 はい                      2 いいえ																	
問34	あなたが、福祉・介護分野を選択しなかった理由についてお聞きします。 該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)																	
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 仕事にやりがいがないと感じた</td> <td style="width: 50%;">2 職場の人間関係が悪く感じた</td> </tr> <tr> <td>3 給与・諸手当が低かった</td> <td>4 正規職員としての採用がなかった</td> </tr> <tr> <td>5 昇進等、将来の見通しがなかった</td> <td>6 社会的な評価が低いと感じた</td> </tr> <tr> <td>7 夜勤や休日出勤など不規則だった</td> <td>8 業務の負担や責任が重すぎる</td> </tr> <tr> <td>9 仕事がきつそうで、体力に不安があった</td> <td>10 仕事と家庭の両立が難しそうだった</td> </tr> <tr> <td>11 福利厚生に不満だった</td> <td>12 通勤が不便だった</td> </tr> <tr> <td>13 自分の能力を伸ばすゆとりがなかった</td> <td>14 利用者とのコミュニケーションに自信がなかった</td> </tr> <tr> <td>15 その他 ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 特にない</td> <td></td> </tr> </table>	1 仕事にやりがいがないと感じた	2 職場の人間関係が悪く感じた	3 給与・諸手当が低かった	4 正規職員としての採用がなかった	5 昇進等、将来の見通しがなかった	6 社会的な評価が低いと感じた	7 夜勤や休日出勤など不規則だった	8 業務の負担や責任が重すぎる	9 仕事がきつそうで、体力に不安があった	10 仕事と家庭の両立が難しそうだった	11 福利厚生に不満だった	12 通勤が不便だった	13 自分の能力を伸ばすゆとりがなかった	14 利用者とのコミュニケーションに自信がなかった	15 その他 ( )		16 特にない
1 仕事にやりがいがないと感じた	2 職場の人間関係が悪く感じた																	
3 給与・諸手当が低かった	4 正規職員としての採用がなかった																	
5 昇進等、将来の見通しがなかった	6 社会的な評価が低いと感じた																	
7 夜勤や休日出勤など不規則だった	8 業務の負担や責任が重すぎる																	
9 仕事がきつそうで、体力に不安があった	10 仕事と家庭の両立が難しそうだった																	
11 福利厚生に不満だった	12 通勤が不便だった																	
13 自分の能力を伸ばすゆとりがなかった	14 利用者とのコミュニケーションに自信がなかった																	
15 その他 ( )																		
16 特にない																		
問35	今後、福祉・介護分野で働きたいと考えますか。																	
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">1 是非働きたい</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2">→ 問36へ</td> </tr> <tr> <td>2 条件があえば働きたい</td> </tr> <tr> <td>3 働きたいとは思わない</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2">→ 問38へ</td> </tr> <tr> <td>4 わからない</td> </tr> </table>	1 是非働きたい	}	→ 問36へ	2 条件があえば働きたい	3 働きたいとは思わない	}	→ 問38へ	4 わからない									
1 是非働きたい	}	→ 問36へ																
2 条件があえば働きたい																		
3 働きたいとは思わない	}	→ 問38へ																
4 わからない																		

問35で「1」又は「2」と答えた方は問36へ進み、ご回答ください。  
「3」又は「4」と答えた方は問38へ進み、ご回答ください。

問36	問35で「1 是非働きたい」、「2 条件があれば働きたい」と回答された方にお聞きます。どのくらいの期間までを目途に福祉・介護分野で働きたいと考えますか。
	1 1年以内      2 2年以内      3 決めていない
問37	福祉・介護分野に就職しようとした場合に、どのような手段を通じて仕事を探しますか。該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)
問38	福祉・介護分野で就職するために改善してほしいことについて、該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)
問39	問38で回答した点を改善するためには、どのような対策が必要であると考えますか。(自由記載)

《質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》

## ご 案 内

3 福祉士現況把握調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今後、厚生労働省といたしましては、都道府県・関係団体等と連携を図りつつ、福祉・介護人材を安定的に確保し、その定着を支援する観点から、研修会の実施等様々な取組を行っていくことを検討しています。

つきましては、今後、厚生労働省や都道府県、関係団体等が行う研修会等の内容について、皆様方に情報提供をしたいと考えておりますが、こうした情報提供を希望される方は、下記に「氏名」及び「現住所」をご記入いただきますようお願いいたします。

なお、下記にご記入いただいた「氏名」・「現住所」は、都道府県・市区町村が独自に行う研修会等を都道府県等から情報提供させていただく観点から、都道府県等へ提供する場合を除き、皆様方への情報提供を行う場合にのみ活用させていただくものです。

ご提出いただいた調査票を名前入りで公表することはありませんので、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

氏 名	
現住所	〒 都 道 府 県

### 3 福祉士現況把握調査

(平成20年7月1日時点の状況でご回答ください。)

なお、問番号の下に「※1、※2」等の印がある場合は別冊「記入に当たってのお願い」の中に「用語の説明」がありますので、ご参照いただき回答してください。

0. 基本的事項		現在、働いていない方にお聞きします。																					
問1	現在、お住まいの都道府県・市・郡部名を（ ）内に記入し、該当する都道府県・市・区・郡へ○を記入してください。	<table border="0"> <tr> <td>〔 〕</td> <td>都 道</td> <td>〔 〕</td> <td>市・区</td> </tr> <tr> <td>〕</td> <td>府 県</td> <td>〕</td> <td>郡</td> </tr> </table>		〔 〕	都 道	〔 〕	市・区	〕	府 県	〕	郡												
〔 〕	都 道	〔 〕	市・区																				
〕	府 県	〕	郡																				
問2	あなたの性別及び年齢について該当する番号1つに○を記入してください。	<table border="0"> <tr> <td>(1) 性 別</td> <td>1 男性</td> <td>2 女性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) 年 齢</td> <td>1 20歳未満</td> <td>2 20～24歳</td> <td>3 25～29歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 30～34歳</td> <td>5 35～39歳</td> <td>6 40～44歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7 45～49歳</td> <td>8 50～54歳</td> <td>9 55～59歳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 60～64歳</td> <td>11 65歳以上</td> <td></td> </tr> </table>		(1) 性 別	1 男性	2 女性		(2) 年 齢	1 20歳未満	2 20～24歳	3 25～29歳		4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳		7 45～49歳	8 50～54歳	9 55～59歳		10 60～64歳	11 65歳以上	
(1) 性 別	1 男性	2 女性																					
(2) 年 齢	1 20歳未満	2 20～24歳	3 25～29歳																				
	4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳																				
	7 45～49歳	8 50～54歳	9 55～59歳																				
	10 60～64歳	11 65歳以上																					
問3	あなたが所有している福祉・介護に関わる資格等に該当する番号及び「昭和=S、平成=H」のいずれかに○を記入し、その取得年度を記入してください。(複数選択可) なお、選択肢「1 社会福祉士」、「2 介護福祉士」及び「3 精神保健福祉士」のうち、複数に該当する方については、今後、一番活用したいと考えている資格に◎を記入してください。(→ なお、選択肢「1」、「2」、「3」で複数選択された方は、以降の質問は◎を付した資格の立場からお答えください。)	<table border="0"> <tr> <td>1 社会福祉士 (S・H 年)</td> <td>2 介護福祉士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>3 精神保健福祉士 (S・H 年)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">-----</td> </tr> <tr> <td>4 社会福祉主事 (S・H 年)</td> <td>5 介護支援専門員 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>6 ホームヘルパー (S・H 年)</td> <td>7 保育士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>8 看護師 (S・H 年)</td> <td>9 准看護師 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>10 保健師 (S・H 年)</td> <td>11 理学療法士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>12 作業療法士 (S・H 年)</td> <td>13 臨床心理士 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>14 言語聴覚士 (S・H 年)</td> <td>15 教科「福祉」の高等学校教育免許 (S・H 年)</td> </tr> <tr> <td>16 その他 ( ) (S・H 年)</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※その他の場合、( ) に資格の名称をご記入ください。</p>		1 社会福祉士 (S・H 年)	2 介護福祉士 (S・H 年)	3 精神保健福祉士 (S・H 年)		-----		4 社会福祉主事 (S・H 年)	5 介護支援専門員 (S・H 年)	6 ホームヘルパー (S・H 年)	7 保育士 (S・H 年)	8 看護師 (S・H 年)	9 准看護師 (S・H 年)	10 保健師 (S・H 年)	11 理学療法士 (S・H 年)	12 作業療法士 (S・H 年)	13 臨床心理士 (S・H 年)	14 言語聴覚士 (S・H 年)	15 教科「福祉」の高等学校教育免許 (S・H 年)	16 その他 ( ) (S・H 年)	
1 社会福祉士 (S・H 年)	2 介護福祉士 (S・H 年)																						
3 精神保健福祉士 (S・H 年)																							
-----																							
4 社会福祉主事 (S・H 年)	5 介護支援専門員 (S・H 年)																						
6 ホームヘルパー (S・H 年)	7 保育士 (S・H 年)																						
8 看護師 (S・H 年)	9 准看護師 (S・H 年)																						
10 保健師 (S・H 年)	11 理学療法士 (S・H 年)																						
12 作業療法士 (S・H 年)	13 臨床心理士 (S・H 年)																						
14 言語聴覚士 (S・H 年)	15 教科「福祉」の高等学校教育免許 (S・H 年)																						
16 その他 ( ) (S・H 年)																							
問4	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の資格取得方法について該当する番号に○を記入してください。	<table border="0"> <tr> <td>1 福祉系大学等で指定科目を修めて卒業し、国家試験を受験して取得</td> </tr> <tr> <td>2 福祉系大学等で基礎科目を修めて卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士短期養成施設で6月以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得</td> </tr> <tr> <td>3 一般大学等を卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得</td> </tr> <tr> <td>4 4年以上の実務経験を経て、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得</td> </tr> <tr> <td>5 介護福祉士養成施設等で一定の養成課程を修めて取得</td> </tr> <tr> <td>6 一定の実務経験のみをもって国家試験を受験して取得</td> </tr> <tr> <td>7 福祉系高等学校等を卒業し、国家試験を受験して取得</td> </tr> </table>		1 福祉系大学等で指定科目を修めて卒業し、国家試験を受験して取得	2 福祉系大学等で基礎科目を修めて卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士短期養成施設で6月以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得	3 一般大学等を卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得	4 4年以上の実務経験を経て、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得	5 介護福祉士養成施設等で一定の養成課程を修めて取得	6 一定の実務経験のみをもって国家試験を受験して取得	7 福祉系高等学校等を卒業し、国家試験を受験して取得													
1 福祉系大学等で指定科目を修めて卒業し、国家試験を受験して取得																							
2 福祉系大学等で基礎科目を修めて卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士短期養成施設で6月以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得																							
3 一般大学等を卒業し、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得																							
4 4年以上の実務経験を経て、社会福祉士・精神保健福祉士一般養成施設で1年以上の養成課程を修めた後、国家試験を受験して取得																							
5 介護福祉士養成施設等で一定の養成課程を修めて取得																							
6 一定の実務経験のみをもって国家試験を受験して取得																							
7 福祉系高等学校等を卒業し、国家試験を受験して取得																							

問5	あなたが社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を取得した動機について該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)	
	1 専門職としての知識・技術を得るため 3 職場から資格取得を求められた(勤められた)ため 5 社会的評価を得るため 7 収入の安定のため 9 卒業したら資格が取れた(受験できた)ため 10 その他( ) 11 特になし	2 他の専門職から専門職として認めってもらうため 4 他の職員を指導する立場になる(なった)ため 6 就職・転職に有利なため 8 資格手当がほしいため

## 1. 就業状況調査

問6	現在、働かれていない理由に該当する番号1つに○を記入してください。	
	1 定年退職したため 3 家族等の介護・看護のため 5 働く必要がないため 6 その他( )	2 出産・子育てのため 4 腰痛等、体調を崩しているため

問7	これまでに就業経験はありますか。	
	1 はい → 問8へ 2 いいえ → 問25へ	

問7で「1 はい」と回答された方は問8へ進み、ご回答ください。  
「2 いいえ」と回答された方は問25へ進み、ご回答ください。

問8 (※4)	あなたが、以前に働いていた業種について該当する番号1つに○を記入してください。なお、複数該当する場合は、直近に働いていた職場の番号1つを選択してください。	
	1 福祉・介護分野 3 農業・林業・漁業 5 建設業 7 電気・ガス・熱供給・水道業 9 運輸業 11 金融・保険業 13 飲食店、宿泊業 15 サービス業 17 その他( )	2 病院・診療所(介護保険法に基づくサービスを提供する医療機関以外) 4 鉱業 6 製造業 8 情報通信業 10 卸売・小売業 12 不動産業 14 教育、学習支援業(福祉に関する職種以外) 16 公務員(福祉に関する職種以外)

問8で「1 福祉・介護分野」と回答された方は問9へ進み、ご回答ください。  
「1 福祉・介護分野」以外を回答された方は問25へ進み、ご回答ください。

問9	あなたの福祉・介護分野で従事した期間についてお聞きします。	
	(1) 福祉・介護分野で従事されていたのはどのくらい前ですか。	( 年 ヶ月前)
	(2) その職場ではどれぐらいの期間働かれましたか。	( 年 ヶ月)
	(3) その職場以外の福祉・介護関係の職場(職場内での異動は含まない。)で何回、転職していますか。	( 回)





問17	問16の給与の他に、年間賞与についてお聞きします。(百円未満は四捨五入してください。)
	<p>(1) 年間賞与はありましたか。</p> <p>1 あった → (2) も答え、問18へ</p> <p>2 ない → 問18へ</p> <p>(2) (1) で「1 あった」と回答された方にお聞きします。年間賞与額は合計でどのくらいでしたか。(百円未満は四捨五入してください。)</p> <p>年間賞与 (計 円)</p>
問18	当時のあなたの直近の職場での一週間あたりの労働時間、労働日数(夜勤、残業を除く)及び夜勤回数は通常どのくらいですか。(整数で記入してください。なお、実績がない場合は「0」を記入してください。)
	<p>(1) 労働時間 ( 時間/週)</p> <p>※30分以上の場合は切り上げて、「1時間」としてください。</p>
	<p>(2) 労働日数 ( 日/週)</p> <p>(3) 夜勤回数 ( 回/週)</p> <p>※労働時間の長短に関わらず、実績がある場合は「1日」及び「1回」としてください。</p>
	問19 当時のあなたの直近の職場において、定められている有給休暇日数及び実際にあなたが取得した有給休暇日数はどのくらいでしたか。(なお、実績がない場合は「0」を記入してください。)
問19	<p>(1) 職場で定められている有給休暇日数 ( 日/年)</p> <p>(2) 実際に取得した有給休暇日数 ( 日/年)</p>

## 2. 意識調査

問20	当時、福祉・介護の職場で働こうと決めた理由に該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)																			
	<table border="0"> <tr> <td>1 働きがいのある仕事だと思ったから</td> <td>2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから</td> </tr> <tr> <td>3 子どもの頃からの希望だったから</td> <td>4 人や社会の役に立ちたいから</td> </tr> <tr> <td>5 給与等、収入が良いから</td> <td>6 労働時間、休日等の労働条件が良いから</td> </tr> <tr> <td>7 正規職員として働けるから</td> <td>8 通勤が便利だから</td> </tr> <tr> <td>9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから</td> <td>10 資格を取得するために必要だったから</td> </tr> <tr> <td>11 研修や職員教育が充実していたから</td> <td>12 福利厚生が充実していたから</td> </tr> <tr> <td>13 子育てを行う環境が充実しているから</td> <td>14 技能や資格を身につけられると思ったから</td> </tr> <tr> <td>15 施設運営やサービス方針等に共感したから</td> <td>16 規模、安定性、将来性があったから</td> </tr> <tr> <td>17 職場の人間関係が良好そうであったから</td> <td>18 経営者や人事担当者の人柄から</td> </tr> <tr> <td>19 その他 ( )</td> <td></td> </tr> </table>	1 働きがいのある仕事だと思ったから	2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから	3 子どもの頃からの希望だったから	4 人や社会の役に立ちたいから	5 給与等、収入が良いから	6 労働時間、休日等の労働条件が良いから	7 正規職員として働けるから	8 通勤が便利だから	9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから	10 資格を取得するために必要だったから	11 研修や職員教育が充実していたから	12 福利厚生が充実していたから	13 子育てを行う環境が充実しているから	14 技能や資格を身につけられると思ったから	15 施設運営やサービス方針等に共感したから	16 規模、安定性、将来性があったから	17 職場の人間関係が良好そうであったから	18 経営者や人事担当者の人柄から	19 その他 ( )
1 働きがいのある仕事だと思ったから	2 自分の能力・個性・資格を活かせると思ったから																			
3 子どもの頃からの希望だったから	4 人や社会の役に立ちたいから																			
5 給与等、収入が良いから	6 労働時間、休日等の労働条件が良いから																			
7 正規職員として働けるから	8 通勤が便利だから																			
9 仕事を福祉以外で探したが見つからなかったから	10 資格を取得するために必要だったから																			
11 研修や職員教育が充実していたから	12 福利厚生が充実していたから																			
13 子育てを行う環境が充実しているから	14 技能や資格を身につけられると思ったから																			
15 施設運営やサービス方針等に共感したから	16 規模、安定性、将来性があったから																			
17 職場の人間関係が良好そうであったから	18 経営者や人事担当者の人柄から																			
19 その他 ( )																				
問21	福祉・介護の職場を辞めた理由について該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)																			
	<table border="0"> <tr> <td>1 職員間の人間関係が良くないため</td> <td>2 利用者との人間関係が良くないため</td> </tr> <tr> <td>3 仕事の内容がきついため</td> <td>4 給与等の労働条件が悪いため</td> </tr> <tr> <td>5 昇進・正規職員への登用等、将来の見通しが見えないため</td> <td>6 研修や職員教育が不十分だから</td> </tr> <tr> <td>7 夜勤や不規則勤務等があるため</td> <td>8 法人の事業不振・人員整理等のため</td> </tr> <tr> <td>9 体力に自信がないため</td> <td>10 仕事にやりがいがないため</td> </tr> <tr> <td>11 専門性が評価されていないため</td> <td>12 体調を崩したため</td> </tr> <tr> <td>13 結婚のため</td> <td>14 出産・育児のため</td> </tr> <tr> <td>15 家族等の介護・看護のため</td> <td>16 転居のため</td> </tr> <tr> <td>17 その他 ( )</td> <td></td> </tr> </table>	1 職員間の人間関係が良くないため	2 利用者との人間関係が良くないため	3 仕事の内容がきついため	4 給与等の労働条件が悪いため	5 昇進・正規職員への登用等、将来の見通しが見えないため	6 研修や職員教育が不十分だから	7 夜勤や不規則勤務等があるため	8 法人の事業不振・人員整理等のため	9 体力に自信がないため	10 仕事にやりがいがないため	11 専門性が評価されていないため	12 体調を崩したため	13 結婚のため	14 出産・育児のため	15 家族等の介護・看護のため	16 転居のため	17 その他 ( )		
1 職員間の人間関係が良くないため	2 利用者との人間関係が良くないため																			
3 仕事の内容がきついため	4 給与等の労働条件が悪いため																			
5 昇進・正規職員への登用等、将来の見通しが見えないため	6 研修や職員教育が不十分だから																			
7 夜勤や不規則勤務等があるため	8 法人の事業不振・人員整理等のため																			
9 体力に自信がないため	10 仕事にやりがいがないため																			
11 専門性が評価されていないため	12 体調を崩したため																			
13 結婚のため	14 出産・育児のため																			
15 家族等の介護・看護のため	16 転居のため																			
17 その他 ( )																				

問22	<p>もう一度、福祉・介護分野に戻りたいと思いますか。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30px;">1</td> <td style="width: 250px;">是非戻りたい</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">→ 問23へ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>条件があれば戻りたい</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>戻りたくない</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">→ 問25へ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>わからない</td> </tr> </table>	1	是非戻りたい	}	→ 問23へ	2	条件があれば戻りたい	3	戻りたくない	}	→ 問25へ	4	わからない		
1	是非戻りたい	}	→ 問23へ												
2	条件があれば戻りたい														
3	戻りたくない	}	→ 問25へ												
4	わからない														
<p><b>問22で「1」又は「2」と答えた方は問23へ進み、ご回答ください。</b>  <b>「3」又は「4」と答えた方は問25へ進み、ご回答ください。</b></p>															
問23	<p>問22で「1 是非戻りたい」、「2 条件があれば戻りたい」と回答された方にお聞きます。どのくらいの期間を目標に福祉・介護分野に復帰したいと考えますか。</p> <p>1 1年以内      2 2年以内      3 決めていない</p>														
問24	<p>福祉・介護分野に復帰するとした場合に、どのような手段を通じて仕事を探しますか。該当する番号に○を記入してください。(2つ以内)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 福祉人材センターの無料職業紹介</td> <td style="width: 50%;">2 ハローワークの無料職業紹介</td> </tr> <tr> <td>3 民間の職業紹介</td> <td>4 法人等による就職説明会</td> </tr> <tr> <td>5 法人等のホームページ</td> <td>6 知人からの紹介</td> </tr> <tr> <td>7 前の職場からの紹介</td> <td>8 学校・養成校等での進路指導</td> </tr> <tr> <td>9 新聞・折込チラシ</td> <td>10 求人・就職情報誌、求人情報サイト</td> </tr> <tr> <td>11 実習・施設見学</td> <td>12 行政広報誌（区報・市報等）</td> </tr> <tr> <td>13 その他（</td> <td style="text-align: right;">）</td> </tr> </table>	1 福祉人材センターの無料職業紹介	2 ハローワークの無料職業紹介	3 民間の職業紹介	4 法人等による就職説明会	5 法人等のホームページ	6 知人からの紹介	7 前の職場からの紹介	8 学校・養成校等での進路指導	9 新聞・折込チラシ	10 求人・就職情報誌、求人情報サイト	11 実習・施設見学	12 行政広報誌（区報・市報等）	13 その他（	）
1 福祉人材センターの無料職業紹介	2 ハローワークの無料職業紹介														
3 民間の職業紹介	4 法人等による就職説明会														
5 法人等のホームページ	6 知人からの紹介														
7 前の職場からの紹介	8 学校・養成校等での進路指導														
9 新聞・折込チラシ	10 求人・就職情報誌、求人情報サイト														
11 実習・施設見学	12 行政広報誌（区報・市報等）														
13 その他（	）														
問25	<p>福祉・介護分野へ就職するために改善してほしいことについて、該当する番号に○を記入してください。(3つ以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 資格に見合った給与水準に引き上げる</li> <li>2 経験に見合った給与体系の構築</li> <li>3 希望する研修等を受けられるようにする</li> <li>4 労働時間を短縮する</li> <li>5 研修等の内容を充実する</li> <li>6 有資格者のキャリアアップの仕組みを構築する</li> <li>7 作成書類の軽減等、事務作業の効率化・省力化を図る</li> <li>8 有給休暇や育児休業等の取得しやすい環境整備を整える</li> <li>9 社会的な評価を向上させる</li> <li>10 福利厚生を充実させる</li> <li>11 子育てを行う支援体制の充実</li> <li>12 腰痛対策のため福祉用具等の活用等を図る</li> <li>13 メンタルヘルス対策の充実</li> <li>14 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント防止策の充実</li> <li>15 その他（</li> <li>16 特にない</li> </ol> <p style="text-align: right;">）</p>														



<p>問31</p>	<p>福祉・介護分野に就職しようとした場合に、どのような手段を通じて仕事を探しますか。該当する番号1つに○を記入してください。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 福祉人材センターの無料職業紹介</td> <td style="width: 50%;">2 ハローワークの無料職業紹介</td> </tr> <tr> <td>3 民間の職業紹介</td> <td>4 法人等による就職説明会</td> </tr> <tr> <td>5 法人等のホームページ</td> <td>6 知人からの紹介</td> </tr> <tr> <td>7 前の職場からの紹介</td> <td>8 学校・養成校等での進路指導</td> </tr> <tr> <td>9 新聞・折込チラシ</td> <td>10 求人・就職情報誌、求人情報サイト</td> </tr> <tr> <td>11 実習・施設見学</td> <td>12 行政広報誌（区報・市報等）</td> </tr> <tr> <td>13 その他（</td> <td>）</td> </tr> </table>	1 福祉人材センターの無料職業紹介	2 ハローワークの無料職業紹介	3 民間の職業紹介	4 法人等による就職説明会	5 法人等のホームページ	6 知人からの紹介	7 前の職場からの紹介	8 学校・養成校等での進路指導	9 新聞・折込チラシ	10 求人・就職情報誌、求人情報サイト	11 実習・施設見学	12 行政広報誌（区報・市報等）	13 その他（	）
1 福祉人材センターの無料職業紹介	2 ハローワークの無料職業紹介														
3 民間の職業紹介	4 法人等による就職説明会														
5 法人等のホームページ	6 知人からの紹介														
7 前の職場からの紹介	8 学校・養成校等での進路指導														
9 新聞・折込チラシ	10 求人・就職情報誌、求人情報サイト														
11 実習・施設見学	12 行政広報誌（区報・市報等）														
13 その他（	）														
<p>問32</p>	<p>福祉・介護分野で就職するために改善してほしいことについて、該当する番号に○を記入してください。（3つ以内）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 資格に見合った給与水準に引き上げる</li> <li>2 経験に見合った給与体系の構築</li> <li>3 希望する研修等を受けられるようにする</li> <li>4 労働時間を短縮する</li> <li>5 研修等の内容を充実する</li> <li>6 有資格者のキャリアアップの仕組みを構築する</li> <li>7 作成書類の軽減等、事務作業の効率化・省力化を図る</li> <li>8 有給休暇や育児休業等の取得しやすい環境整備を整える</li> <li>9 社会的な評価を向上させる</li> <li>10 福利厚生を充実させる</li> <li>11 子育てを行う支援体制の充実</li> <li>12 腰痛対策のため福祉用具の活用等を図る</li> <li>13 メンタルヘルス対策の充実</li> <li>14 パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント防止策の充実</li> <li>15 その他（</li> <li>16 特にない</li> </ol>														
<p>問33</p>	<p>問32で回答した点を改善するためには、どのような対策が必要であると考えますか。（自由記載）</p>														

《質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》

## ご 案 内

3 福祉士現況把握調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

今後、厚生労働省といたしましては、都道府県・関係団体等と連携を図りつつ、福祉・介護人材を安定的に確保し、その定着を支援する観点から、研修会の実施等様々な取組を行っていくことを検討しています。

つきましては、今後、厚生労働省や都道府県、関係団体等が行う研修会等の内容について、皆様方に情報提供をしたいと考えておりますが、こうした情報提供を希望される方は、下記に「氏名」及び「現住所」をご記入いただきますようお願いいたします。

なお、下記にご記入いただいた「氏名」・「現住所」は、都道府県・市区町村が独自に行う研修会等を都道府県等から情報提供させていただく観点から、都道府県等へ提供する場合を除き、皆様方への情報提供を行う場合にのみ活用させていただくものです。

ご提出いただいた調査票を名前入りで公表することはありませんので、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

氏 名	
現住所	〒 都 道 府 県